

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	地域貢献活動			
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	兵庫県立尼崎西高等学校		
	活動 グループ名	地域貢献グループ	参加学生 等人数	30 人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	兵庫県立尼崎西高等学校		
	責任者氏名	本間 隆志	連絡先 電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	大庄元気むら		
	代表者氏名	増本 雅幸	連絡先 電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動 目標	高齢者を多く抱える大庄地区において、地域住民が支え合える環境作りは喫緊の課題である。地域の集い場「大庄元気むら」を拠点として活動し、異世代交流を通して地域の活性化を目指す。			
活動内容及び 実績、評価	別紙3のとおり			

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。



- ① 7月16日(日) 生き方講演会（主催コープこうべ）で、茶道部の和楽器演奏
- ② 9月24日(日) 和の祭典（主催大庄元気むら）で、茶道部の和楽器演奏
- ③ 10月25(水) 武庫川河川敷清掃
- ④ 11月25日(土) タコフェス（主催尼崎市）で、吹奏楽部演奏
- ⑤ 11月29日(水) 西高ふれあい保育体験
- ⑥ 1月6日(土) 岩渕緒久斗壮行演技会（主催岩渕緒久斗後援会）で、茶道部の和楽器演奏

【活動の成果】

- ①地域で開催される交流会やイベントを通じて、地域の方々が次年度の行事に向けて、高校生に何を求めているのかという話し合いを重ねるなどコミュニケーションを深めることができた。また、本校の魅力を発信することができた。
- ②地域連携の企画・運営に際して生徒が自らすすんで参加し、事業を実施したことで目標を達成したことによる自己肯定感が培われた。
- ③保護者、地域の人々と生徒、教職員が交流を深めるよい機会となった。

【大庄元気むらの方より】

- ①令和6年度の行事計画に従って連携をはかる。
- ②今後も尼崎西高校の生徒が、参加できそうなイベント等を、随時大庄元気むらが依頼していく。
- ③パソコン教室に参加してもらい、尼崎の歴史を学び、小学生に教える活動につなげていきたい。
- ④地域清掃を共同で行う企画を考える。
- ⑤社会福祉協議会と連携して、地域防災の意識を高めていく予定なので、協力してほしい。
- ⑥子ども食堂に尼崎西高校の生徒が気軽に利用してほしい。

【指導教員より】

学校近隣のイベントに参加することや清掃活動を行うことで、生徒に地域とのつながりを再認識することができた。また、地域の方々の見守りにも気づき、より地域に貢献しようとする意識が高まった。

【来年度に向けて】

- ①活動を通して多くの地域の方々との交流により、自分たちの地域の魅力や特色を深めていくことを継続していく。
- ②地域の方々と議論しながら、尼崎市や大庄地区の魅力や課題について、共通理解を深める。
- ③様々な年齢層の人と尼崎西高校の生徒が交流できる機会を増やし、ものの見方や考え方を刺激し成長するきっかけを継続してつくる。